



ら び っ く La・BOOK

1月号
No.7

己 新年あけまして おめでとうございます。
今年も どうぞご利用をお願いいたします。



中央図書館の企画展示

自分をみつめよう ～明日はきっといいことがある～

みなさんが、自分を
確かに見つめ、キラキ
ラ輝いて生きることが
できる図書を集めてみ
ました。職員のおすす
めコメント付です。展
示と同時に、次々に貸
し出され、関心の高さが伺われます。図書をさらに補
充しましたのでぜひご覧いただき、前向きに新しい年
を過ごしていただければと思います。



展示おすすめ図書 (一部のみ)

仕事が忙しい人へ

- 『働き方』 稲盛和夫/サンマーク出版
- 『自分を貫く言葉』
スティーブ・ジョブズ/イースト・プレス

人生を愉しむ男性・女性へ

- 『プロ脳』 児玉光雄/アスコム
- 『ニッポン・ビューティ』 白江亜古/講談社
- 『くもりのちしあわせ』 小林絢子/ART BOXインターナショナル

明るい未来へ向かう若者たちへ

- 『最高の人生を送る一番の方法はリアルな仲間を作ることだ』 荻原純一/アスコム
- 『しあわせ』 レイフ・クリスチャンソン/岩崎書店

今を生きる団塊世代へ

- 『美しい朝で人生を変える』 藤原美智子/幻冬舎
- 『宇宙を貫く幸せの法則』 小林正観/致知出版社

すてきな老後を過ごすために

- 『錆びない生き方』 坂東眞理子/講談社
- 『老いかたレッスン』 渡辺淳一/新潮社
- 『百歳』 柴田トミ/飛鳥新社

三郷図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

「二斗五升」に命をかけた加助

貞享騒動は、
1686年(貞
享3)松本藩で
起こりました。
長尾組(現三郷)
の庄屋多田加助
らが、年貢の減



二斗五升 語り伝えよ 稲の波 (義民社)

免を求めて郡奉行に訴えたものです。二斗五
升挽きとは、一俵に詰める年貢米(粃5斗)
を玄米にした量のことでほぼ五公五民に当
ります。当時松本藩は、近隣の諸藩の二斗五
升挽きに比べて、重い年貢三斗挽き(六公四
民)を課し、農民たちにぎりぎりの生活を強
いていました。にもかかわらず、さらにのぎ
踏磨きと三斗四、五升挽を厳命したことで、
加助らは決起したわけです。

しかし、藩の策略に遭い志をとげられぬま
ま処刑されてしまいます。加助は磔柱の上か
ら松本城をにらみ「二斗五升だぞ!」と絶叫
しつつ息絶えたと伝えられています。

【関係の資料】

- 『三郷村誌Ⅱ 第二巻歴史編上』/三郷村誌刊行会
 - 『貞享騒動の正しい理解』/三郷村教育委員会
 - 『加助騒動』横山篤美/郷土出版社
 - 『貞享義民一揆の実像』/田中薫/論叢出版センター
- なお、三郷中萱地区には、「貞享義民記念館」
があります。一度足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

シアター「貞享
義民物語」も上
映しています。



2012年間貸出ランキング

一般書

- 1 神様のカルテ2/夏川草介
- 2 流星の絆/東野圭吾
- 3 神様のカルテ/夏川草介
- 〃 麒麟の翼/東野圭吾
- 5 真夏の方程式/東野圭吾
- 6 マスカレード・ホテル/東野圭吾
- 7 夜明けの街で/東野圭吾
- 8 聖女の救済/東野圭吾
- 9 プラチナデータ/東野圭吾
- 10 ダイニング・アイ/東野圭吾

児童書

- 1 かいけつゾロリの大金もち/原ゆたか
- 2 かいけつゾロリのなぞなぞ大さくせん/原ゆたか
- 3 かいけつゾロリとなぞのひこうき/原ゆたか
- 〃 バムとケロのにちようび/島田ゆか
- 5 かいけつゾロリのきょうふのプレゼント/原ゆたか

AV資料

- 1 武士の一分/山田洋次監督
- 2 となりのトトロ/宮崎駿監督
- 〃 ハリー・ポッターと謎のプリンス/テイビット・イエーツ監督
- 4 ハリー・ポッターと賢者の石/クリス・コロンバス監督
- 5 魔法の宅急便/角野栄子原作

本のソムリエ（職員）のおすすめ本

一般書

『きみはいい子』中脇初枝/ポプラ社



表紙

虐待を扱った短編集です。舞台は郊外の新興住宅地。人口は増えるのに、人と人、家庭と地域の関係はどんどんと希薄に。現代社会を象徴するこの地で、一見普通に暮らしている人々の中にみえる問題。とても人ごととは思えないところも。重く深刻なテーマですが、心に残る余韻は「暗い」だけではありません。（三郷図書館一般書担当）

児童書

『わたしはあかねこ』

サトシン 作・西村繁雄 絵/文溪堂



表紙

あかねこちゃんは、自分の色をととても気に入っているんだけど、しろねこ母さんとくろねこ父さんは「どうしてあの子だけ色が違うのか」と悩み、しろくろ兄弟たちも「一匹だけ違っかわいそう」と言う。自分らしさをわかってもらえないのが悲しくて、あかねこちゃんは家を飛び出した。みんなと同じがいいのかな？と考えさせられる絵本です。

（三郷図書館児童書担当）

私と図書館

図書館のカバー

（六十一歳 男）

一昨年から豊科図書館を利用している。中央館や梓川・塩尻も覗いてみた。以前は波田もよく利用した。新しい図書館ができると、期待をこめて覗いてみたくなる。図書館に期待していることは、昔ながらに、調べ物をする所、本を借りる所、新聞や雑誌を読む居心地のいい場所、といったところである。

しかし、最近はそのそれぞれの図書館でいろいろな企画展示や講座、映画会等が考えられ、他の施設や行政との連携事業も行われている。それぞれの図書館のカバーがあつて面白い。見比べてみるのも楽しいと思っている。

図書館の職員も、いろいろ尋ねると親切に教えてくれる。インターネット等を利用してのレファレンスもしっかりしてきている。

個人的にはJ2松本山雅のファンなので、昨年内の図書館が取り組んでくれた松本山雅とのコラボ企画が面白かった。今年も山雅選手の読み聞かせとか、反町監督の講演会等を企画してもらえると嬉しいと思っている。



編集・発行・お問い合わせ



- | | |
|-------|----------|
| 中央図書館 | ☎84-0111 |
| 豊科図書館 | ☎71-4022 |
| 三郷図書館 | ☎76-3078 |
| 堀金図書館 | ☎72-5796 |
| 明科図書館 | ☎62-1122 |

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.html>

※編集後記※

新しい年を迎えた1月3日の夕方に、中央図書館の波場優梨香さんの「私の夢」は、「もっと本をたくさん読んで、利用者がいろいろな本と出合う手助けができたらうれしい」と載せた。

今年も、図書館が「本と人との出会いの広場」になるよう頑張ります。

